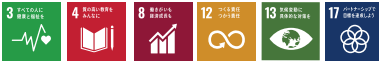


マテリアリティ 2021年4月期～2026年4月期

マテリアリティ・関連するSDGs	主な取り組み
1.地域医療への貢献 「地域全体で治し、支える」医療に貢献する薬局となる 	■ 医薬品の適正使用を実現するため薬局に要請・期待されている役割を確実に実行し、社会が求める新しい仕組みづくりにも率先して挑戦する ■ 効率的な医薬品使用及び医療サービスで医療費抑制を図り、社会保障制度の持続可能性へ貢献する ■ 災害やパンデミック等、いかなる状況下においても、社員の生命・健康を守り、医薬品及び医療サービスの提供を遂行する
2.美しさとすこやかさの提供 現代社会において、毎日を楽しむための美しさとすこやかさを提供する 	■ トрендやニーズ、立地に対応した品揃えの店舗展開で、美しくありたい人々のエンパワーメントを図る ■ 自分らしいライフスタイルを実現する、革新的なオリジナル商品を開発する
3.安全・安心と信頼 日々の業務を通じて、安全・安心と信頼を届ける SDGs前文「すべての人々の人権の実現」 	■ 品質・安全性・管理マネジメントシステムの継続的な改善により、品質・安全性をより強固にする
4.環境保護・負荷低減 環境保護及び負荷低減へ貢献する 	■ 温室効果ガス排出量の把握と削減を遂行する ■ 廃棄物削減による環境配慮に取り組む
5.健全な経営基盤 健全な経営基盤を強化する SDGs前文「すべての人々の人権の実現」 	■ 人権に関する取り組みを推進する ■ 多様な人材の採用と効果的な人材配置により、ダイバーシティ&インクルージョンを推進する ■ 社員の健康増進を強化する ■ 会社情報資産の保護体制及びシステムセキュリティ対策を強化するとともに、各種規程・基準等の設定や管理体制の整備を行い、確実な運用を遂行する ■ 多様なステークホルダーとのエンゲージメントを深め、取締役会の監督機能を継続的に強化する
6.地域社会・取引先との連携 地域コミュニティ及びサプライチェーンとともに、健康な社会づくりとサステナビリティ活動を推進する 	■ 地域社会との調和と共生を目指し、健康活動等を通じた社会貢献を推進する ■ CSR調達*の導入により、サプライチェーン全体でサステナビリティ活動を推進する ■ 医薬品卸との協働による環境負荷軽減への体制を構築する

※CSR調達：企業が調達先（取引先・サプライチェーン）と協働で、社会や環境に配慮した責任ある調達の取り組みを進めていくこと

マテリアリティへの取り組み

KPI	Aspirational Goal (ありたい姿) 2026年4月期目標	2026年4月期実績
1.地域医療への貢献		
認定薬局 ^{*1} 数	全薬局でいずれかを認定 ■ 専門医療機関連携薬局 ■ 地域連携薬局	■ 専門医療機関連携薬局 53店舗 ■ 地域連携薬局 818店舗 (全1,252薬局)
健康サポート薬局 ^{*2} 数	薬局50%以上で健康サポート薬局を認定	健康サポート薬局 614店舗 (全1,252薬局)
在宅応需件数	全薬局で在宅24件/年実施	94.9%の薬局で実施
かかりつけ薬剤師数	全薬局にかかりつけ薬剤師配置	91.5%の薬局に配置
ジェネリック (GE) 医薬品の使用率	全薬局でGE医薬品使用率85%以上を維持	95.9%の薬局で維持
BCPの継続改善、実践力の強化	安否確認訓練 ^{*3} 報告率 100%	99.4%
災害拠点病院主応需薬局への備蓄整備率	災害拠点病院主応需全薬局で配備	2薬局 (対象28薬局)
2.美しさとすこやかさの提供		
アプリを活用した、ユーザーへの情報提供と購入機会の提供	アインズ&トルペ公式アプリ ■ アクティブユーザー数 100万人/月 ■ ページビュー数 150万人/月	■ 45.2万人/月 ■ 48.3万人/月
オリジナルブランドにおけるクリーンビューティ ^{*4} 商品の製造数	製造数比率50%	32.2%
3.安全・安心と信頼		
内部監査指摘状況	■ 全薬局 ^{*5} 該当項目指摘0件 ■ 全店舗 ^{*5} 優良店舗 ^{*5}	■ 指摘のあった薬局 48.9% ■ 優良店舗 59.1%
4.環境保護・負荷低減		
グループ全体の温室効果ガス排出量の把握業務構築と削減	2031年4月期目標 基準年 (2022年4月期) に対するScope1・2 ^{*6} におけるCO ₂ 排出量削減率 30%	削減率 総量 ▲ 36.1% 排出量原単位 ^{*7} 33.6%
医薬品の廃棄率	廃棄率0.02%以下	0.07%

KPI	Aspirational Goal (ありたい姿) 2026年4月期目標	2026年4月期実績
5.健全な経営基盤		
人権方針の制定	人権方針の開示	2021年12月制定・開示
人権に関する理解度チェックテスト ^{*8} の受験率及び正答率	■ 受験率100% ■ 正答率100%	(集計中)
くるみん・プラチナくるみん ^{*9} 、えるぼし・プラチナえるぼし ^{*10} 等の認定	プラチナくるみん、プラチナえるぼし等の認定継続	プラチナくるみん認定取得・プラチナえるぼし認定取得
女性管理職 ^{*11} 率	女性管理職率40%	45.1%
LGBTに関する考え方の制定	LGBTに関する考え方の開示	2021年12月開示
健康経営優良法人 ^{*12} 認定に関する各項目	健康経営優良法人 (大規模法人部門ホワイト500 ^{*12}) 認定	健康経営優良法人 2026 (大規模法人部門) 取得
セキュリティインシデント件数	重大インシデント0件	0件
取締役会評価点数	取締役会評価点数 全項目4点/5点以上	全項目平均4.5点/5点
社外取締役数	社外取締役数2/5以上	2.3/5 (5/11人)
女性取締役数	女性取締役数1/3以上	1.1/3 (4/11人)
6.地域社会・取引先との連携		
地域イベント開催数	全薬局で4回以上/年実施	イベント実施率152.0%
CSR調達方針・ガイドラインの制定とサプライチェーンへの周知・運用	■ CSR調達方針・ガイドラインの開示 ■ サプライチェーンへの説明会・監査の実施	■ 2022年11月制定・開示 ■ 説明会開催済 (SAQ実施済)・監査開始
実施店舗における医薬品配送回数	■ 500薬局で実施 ■ 配送回数削減による配送時CO ₂ 排出量75%削減 ■ 配送回数削減による納品検品時間75%削減	■ 82薬局で実施 ■ CO ₂ 排出量 73%削減 ■ 納品検品時間 75%削減

※ 1 認定薬局 (専門医療機関連携薬局・地域連携薬局): 薬機法改正により2021年8月から開始された、機能別の薬局認定制度

※ 2 健康サポート薬局: 厚生労働大臣が定める一定の基準を満たしている薬局。かかりつけ薬剤師・薬局の基本的な機能を備えた薬局のうち、さらに地域住民による主体的な健康の維持・増進を積極的に支援する薬局

※ 3 安否確認訓練: 社員や家族、店舗状況等の安全を最優先に確認したうえで、支援体制を整え、医療サービスの継続提供を行う前提となる訓練

※ 4 クリーンビューティ: 身体や肌に優しい成分を使った安全な商品 (低刺激)、自然や天然の原料使用 (ナチュラル、オーガニック)・環境配慮 (エコ、クルエルティーフリー/動物実験なし) がされた美容アイテム

※ 5 全薬局: ファーマシー事業の薬局店舗 全店舗: リテール事業の店舗 優良店舗: 内部監査で指摘項目3つ以下の店舗

※ 6 Scope1: 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
Scope2: 他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出

※ 7 排出量原単位: Scope1+Scope2 (t-CO₂) / 連結売上高 (億円) にて算出

※ 8 理解度チェックテスト: 当社グループ全役員及び全社員を対象に年1回行われるサステナビリティ研修におけるテスト。ビジネス教養やコンプライアンス (企業倫理)、人権、社員の健康 (健康経営)、情報セキュリティ、環境等のテーマで実施

※ 9 プラチナくるみん認定: 厚生労働省が、次世代育成支援対策推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業を「子育てサポート企業」として認定する制度。また、くるみん認定企業のうち、より高い水準の取り組みを行った企業は、厚生労働大臣の特例認定としてプラチナくるみん認定を受けることができる

※10 プラチナえるぼし認定: 厚生労働省が、女性活躍推進法に基づき、一定基準を満たし、女性の活躍促進に関する状況等が優良な企業を認定する制度。えるぼし認定よりも高い水準として、プラチナえるぼしの特例認定を受けることができる

※11 管理職: 係長、薬局長、店長以上

※12 健康経営優良法人: 経済産業省と日本健康会議が共同で実施する、健康経営に取り組む優れた法人を顕彰する制度。ホワイト500は認定された大規模法人上位500に付加される